

第2回中部支部公開気象講座テキスト 「異常気象と日本—そのメカニズムを考える—」の案内

概 要：B 5版15頁

価 格：1冊500円

送 料：5冊まで240円，10冊まで310円，15冊まで340円

申 込 先：〒462 名古屋市千種区日和町2-18
名古屋地方気象台内
日本気象学会中部支部公開気象講座
事務局 高杉年且 あて

申込方法：「第2回テキスト」と明記し，①郵送先住所・氏名，②申込部数をお知らせ下さい。

郵便葉書またはFAX (052-751-4642) をご利用願います。

送金方法：郵便振替で、テキスト送付時に振替用紙を同封いたします。

内 容：地球温暖化と災害気象の動向
山元龍三郎（京都大学名誉教授）
最近の日本の天候の特徴とその要因
新田勲（東京大学気候システム研究センター教授）

編集後記：事務局担当となりまして1年半ほどたちました。校正が主な仕事ですが、初校では思いがけない誤記を見かけることがあります。先日は、「大陸性高血圧」という誤植を発見して、思わず苦笑してしまいました。間違いは、その人の関心のある方向に発生する、という話を耳にしたことがありますので、血圧で悩んでいる方が印刷に携ったのかしら、などと勝手に想像してしまいました。この号がお手元に届く頃は1年で最も寒い時期です。血圧の高い方はもちろん、そうでない方もどうかご自愛くださいませ。

さて、「天気」をもっと読んでもらえる雑誌にするために、編集委員会では毎回、知恵を絞っています。最

近の会議では、読みやすい誌面を作ることに力点を置きまして、表記の仕方や記事の体裁などを再確認し、随時整えています。その一環として、1995年6月号から「“天気”送り状」の著者チェック欄に「1行24文字になっていますか」という項目を入れました（お気づきでしたか?）。校正の手間を軽くして、ミスを減らすのが目的です。御手数をおかけしますが、最終原稿の提出の際には、よろしく願います。なお、今月号には投稿案内も掲載しています。投稿規定とあわせてご覧下さり、奮ってご投稿いただけたら幸いです。

（山本 佳緒里）